くらし

犬の引き取り

▼**日時** 毎週水曜日 午前10時15分～10時35分
▼**場所** 加古川健康福祉事務所裏庭（印鑑持参）
▼**引取手数料** 千700円（生後91日以上は1頭、生後90日以内は1回につき10頭まで）
※時間は厳守でお願いします。
▼**問い合わせ** 明石健康福祉事務所衛生課 ☎078（917）1129

猫の引き取り

▼**日時** 9月2日(月)・20日(金)午前9時～11時
▼**場所** 産業生活課
▼**引取手数料** 千700円（生後91日以上は1匹、生後90日以内は1回につき10匹まで）
※前記以外の日時では、引き取りできませんので、ご注意ください。
▼**問い合わせ** 産業生活課 ☎0794（35）2364

催し

難病講演会のお知らせ

▼**日時** 9月27日(金)午後1時20分～4時（受付は午後1時～）
▼**場所** 加古川市総合福祉会館
▼**内容** ①講演「膠原病の最新治療と療養生活について」
講師 はりま病院副院長 大田 博之先生
②歯科相談会
③疾患別の交流会
▼**対象** ベーチェット病・全身性エリテマトーデス・強皮症・皮膚筋炎及び多発性筋炎・結節性動脈周囲炎・悪性関節リウマチ・ウエゲナー肉芽腫症・混合性結合組織病・小児慢性（膠原病）の患者家族
▼**申し込み・問い合わせ** 9月18日(水)までに加古川健康福祉事務所 保健指導課保健師まで ☎0794（22）0001

親子で遊ぼう会と育児相談会

▼**日時** 9月12日(木)午前10時～11時30分
▼**場所** 子育て支援センター
▼**講師** 兵庫県野外レクリエーション指導者協議会事務局長 栗木 剛氏
▼**持ち物** お茶、汗拭きタオル、動きやすい服装で
▼**申し込み** 不要。直接お越しください。始まる前に蓮池幼稚園コーラスのお母さん方が楽しい歌声を聞かせてくださいます。
育児相談会 日ごろの子育ての中で気になっていることがありましたら、9月6日(金)までに申し込みをしてください。
▼**申し込み・問い合わせ** 子育て支援センター ☎078（944）0717

ベスト・パートナー塾 公開講座

「手に手をとって考えよう。男女がともに息づくまち播磨町」を合言葉に、男女共同参画社会について楽しく勉強しています。ぜひお越しください。
▼**日時** 9月28日(土)午後1時30分～4時30分
▼**場所** 中央公民館
▼**テーマ・講師** 「あなた居場所ありますか」 中村 彰氏（大阪メンズセンター）元新聞社勤務ジャーナリスト
▼**テーマ・講師** 「DV（暴力）をなくすために」 民間相談機関スタッフ
▼**問い合わせ** 播磨ゆめづくり塾、ベスト・パートナー塾前田一男 ☎090（4766）4468

まちづくりを考えるフォーラム

加古川市、高砂市、稲美町、播磨町で構成する東播臨海広域行政協議会では、「水辺と環境からまちづくりを考えるフォーラム」を開催します。

とき 9月21日（土）午後1時～4時30分（受付 12時30分から）
ところ 稲美町 いなみ文化の森 コスモホール（山陽本線土山駅 タクシー15分）
内容 ①基調講演
演題 「地球に優しい暮らし方」
講師 イーデス・ハンソン（タレント）
②パネルディスカッション
テーマ 「水辺と環境からまちづくりを考える」
コーディネーター 早見 静雄（地域育成プランナー）
パネラー 加古川市 細目 早苗（播磨環境教育研究会会員）
高砂市 松本 修二（播磨ウェットランドリサーチ代表）
稲美町 澤 陽三（加古土地改良区理事長・稲美町土地改良事業連絡協議会会長）
播磨町 本谷かおる（播磨町消費者協会会長）

参加費 無料
問い合わせ 企画調整課 ☎0794（35）0356

▶**対象** 商工業者 ▶**費用** 無料 ▶**申し込み・問い合わせ** 播磨町商工会☎0794（35）1630

ごみフォーラムのご案内

ごみを減らす方法について、みんなで考えましょう！

日時 9月8日(日) 午後1時30分～4時
場所 中央公民館 視聴覚室
主催 播磨町ごみ減らそう会
産業生活課
☎0794（35）2364
共催 （財）ひょうご環境創造協会

内容
①播磨町でのごみ処理の現状紹介
産業生活課 職員
②兵庫県ごみ減量基本方針の説明
兵庫県環境整備課 西岡 信行氏
③先進都市（相生市）でのごみ処理の現状紹介
相生市環境課 原田 耕三 氏
④どうすればごみを減らすことができるのか？
質疑応答と意見交換

ごみの量は増加する一方であり、それに伴い出されたごみを処理する費用も、年々増加しています。また、ごみを焼却した後に残る焼却灰などの埋め立て用地も残り少なくなっています。

兵庫県では、この度このような状況に対処するために、ごみ減量化目標を次のように定めています。

平成10年度のごみ排出量に比較して、平成22年度（目標年）までに

①ごみの量を４％削減する。
②再生利用率を13％向上させる。
③最終処分量（焼却灰等の埋め立て量）を42％削減する。
④可燃ごみ焼却量を３％削減する。

いずれの目標も、このまま何もしないで放置すれば、目標達成は困難であるばかりか、逆に現在よりも増加することになります。

そのため、この目標を達成するために、どのような方法によりごみを減らせば良いのか？ 家庭ごみの有料化の実施などで、ごみの減量に大きな成果をあげておられる先進都市（相生市）におけるごみ処理状況やごみ減量に向けての兵庫県の基本的な考えなどをお聞きして、みんなで考えたいと思います。

参加申し込みは不要ですので、直接会場にお越しください。

▲ペットボトルからリサイクルされた買い物袋

ごみを減らすための“買い物心がけ”７カ条

一人一人にとっては小さなレジ袋でも、積り積もれば大きなごみとなります。播磨町では、買い物袋の持参運動など、ごみの減量を図るために、次のような運動を進めています。

皆様方のちょっとした心がけで、ごみを減らすことができますので、多くの方々のご協力をお願いいたします。

①自分のかばんや買い物袋を持参し、レジ袋を断りましょう。

②ごみとなることが明らかである包装や袋を断りましょう。

③流行に踊らされないで、本当に必要かどうかをよく考えて、買いましょう。

④使い捨て商品の購入は、できるだけやめ、長く使えるものを買いましょう。

⑤なるべくリサイクルされた商品を買いましょう。

⑥日用雑貨や台所用品などは「エコマーク」や「みらいちゃんマーク」などのついた環境に優しい商品を買いましょう。

●エコマーク ●みらいちゃんマーク

⑦家電製品は省エネ型や節水型商品を買いましょう。

経営相談 ▶**日時** 9月6日（金） 午後1時～3時 ▶**場所** 播磨町商工会館２階